

## クレー射撃ってどんな競技?



### クレー射撃とは? ■

散弾銃でクレーと呼ばれる素焼きの皿を撃ち壊していくスポーツ競技です。

クレー射撃は屋外で行われ、トラップ、ダブルトラップ、スキートの三種類の種目に分かれています。

トラップは、横一線に配置された射台から、ランダムに放出されるクレーを1枚ずつ撃っていく種目です。

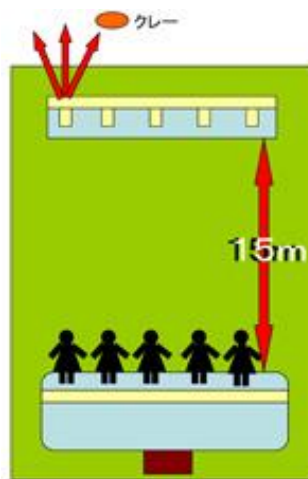
ダブルトラップはクレーの飛ぶ方向は一定ですが、同時に2枚のクレーが飛び、2発で両方のクレーを撃つ種目です。スキートは、半円形に配置された射台を使ってさまざまな方向でクレーを狙います。射手を横切ったクレーを狙うイメージです。



装弾の空薬莖とクレー

クレーは通常直径15cm程の円盤型で、放出機を用いて空中に放出され、射撃の標的とします。射撃でクレーの破碎(割れた欠片)が確認できれば命中(あたり)、得点となります。

3種目の中で中山選手はトラップ競技に取り組んでいます。



トラップ競技は、撃つ場所（射台）が5つあり、撃ち終わる度に選手が順次右の射台へ移動し回っていきます。射手から15メートル前方の地面下にクレーを飛ばす放出機がセットされています。射手のコール(声)に反応してクレーが飛び出します。

射手の正面からクレーは出ますが、左・真ん中・右と3方向にランダムに飛びます。

1回のラウンドでは5周回って25枚のクレーを撃ちます。

銃には2発の装弾が入りますので、最初の1発目（初矢・しょや）を失敗しても2発目（二矢・にのや）を撃つことができます。（点数は1発目でも2発目でも同じです。ただし予選以降のセミファイナル、メダルマッチは1発のみしか撃つことができません。）

国内の大会では通常予選5ラウンド（満点：25点×5R=125点）を撃って、上位6位がセミファイナル（準決勝・満点：15点、1発撃ち）に進み、その後セミファイナルで1位、2位の選手がゴールドメダルマッチ、3位、4位の選手がブロンズメダルマッチのファイナル（決勝戦・満点：15点、1発撃ち）に進み順位が決定します。日本国内では女子の競技人口が少ないこともあり、国内大会のほとんどは男女混合で行われます。

オリンピックや、ワールドカップなどの国際大会では、男子と女子とでルールが異なり、女子競技は、予選が3ラウンドとなります。予選終了時や、セミファイナル終了時に同点の選手が複数いた場合は、シュートオフ（競射）となり、次の試合に進める選手を決定するまで撃つ延長戦を行います。（メダルマッチでも同じです。）

